

課題番号：22

<b>課題名</b>		廃炉プロセス「PCV/RPV/建屋の解体」 検討対象「現状把握」 課題「 <b>炉内・建屋内の汚染状況の把握（解体のための）</b> 」  ※参考：重要研究開発課題「⑤放射性物質による汚染機構の原理的解明」との関連あり <a href="http://www.dd.ndf.go.jp/jp/decommissioning-research/dr-committee/materials/06/doc1-2.pdf">http://www.dd.ndf.go.jp/jp/decommissioning-research/dr-committee/materials/06/doc1-2.pdf</a>	
<b>ニーズ</b>		<b>望ましい状態とその理由</b>	<b>（参考）関連する研究課題</b>
1	汚染状況・線量分布・放射エネルギーを把握したい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●合理的な解体作業計画の策定、解体作業時の被ばく線量低減のためには、炉内・建屋内の汚染状況・線量分布を把握できることが望ましい。</li> <li>●また、解体に伴う廃棄物の処理・処分の観点において、廃棄物量や廃棄物特性を推定するためには、炉内・建屋内の放射エネルギー（インベントリ）を把握できることが望ましい。</li> <li>●効果的・効率的な除染を行うためには、建屋の大部分を構成するコンクリートの汚染機構の原理的な理解に裏付けられた評価手法の確立が望まれる。</li> </ul>	課題リスト3/12「プラント内の最確な線源分布と線量評価技術開発」
<b>関連する課題</b>		○「基礎・基盤研究の全体マップ（詳細版）」にて、本課題と矢印で結ばれた課題は関連する課題です。ご参照ください。 ○また、「PCV/RPV/建屋の解体」と「輸送・保管・貯蔵（燃料デブリに由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」を結ぶ「キャラクタリゼーション（廃棄物管理のための）」も、本課題と関連する課題です。ご参照ください。	